	<u> </u>	上年度(令									No.		
PDCA	主要事業名	8 B	民間保育	育所運営事	事業 部課名			子ども未来部 幼児保育課			<u>担当</u> 内線	<u>山</u>	<u>世</u> 17
									17.3 49K		1		
Р	総合計画: 2 一 1 一 2 単位施策: 幼児教育・保育												
	全体事業期間: 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等: 688, 215 千円 会計												
総													
合計画との関係性と予算根拠	事業概要等 予算額 688,215 千円 財源内訳 市費 217,767 千円 国費	事業概要: 子ども・子育て支援法の規定により民間保育所等に施設型給付費(委託費)、民間保育所運営費補助金を支給する。 事業目的: 公立保育所のみでは、保育を必要とする全ての児童に対応できないことから、民間保育所等において、保育業務を実施し児童の健全育成に努める。 事業内容: 民間保育所等に施設型給付費(委託費)、民間保育所運営費補助金等を支給する。 問題点・ 増加傾向にある低年齢児の保育ニーズや、多様化するさまざまな課題等: 保育ニーズへの対応が必要である。 主要事業とする理由 民間保育所等における保育業務の実施のため、施設型給付費、民間保育所運営費補助金等を適正に支給する必要があるため。 得られる成果								予算見積書で活用			
	271,543 千円 県費 133,933 千円	民間の力を活用し、低年 保育ニーズに対応できる 目標値や目指すべき状態 4月1日現在の待機児童			令和元年度 実績値 0			令和2年度	度 令和3	年度	単位人		
	7 0 /11	数 10月1日: 数	現在の行	待機児童	日 宗 実績 目標 実績	植 植	9 0	0 0		0 - 0	人 人 人		
	その他 64,972 千円				日標								
D 値得 ら	決算額 644,453 千円	得られた成果 延長保育、一時保育など様々な保育ニーズに対応するため、民間保育所等と協力して取り組んできたが、子育て世代の女性の就業率が上昇したことなどに伴い、〇歳児クラスの入所児童数が増加し、結果として年度途中に待機児童が発生した。											
れた		成果指標 令和3年度						年度	単位				
成果と		4月1日現在の待機児童数 実績値 0 人							人				
		目標値 0 人 10月1日現在の待機児童数 実績値 16 人											ı
*		10月1日	現在の					目標値			人 人 人	主	
実績								目標値 実績値		16	人	要	言位工
実	事業の 評価・課題	D 令和、9 の の が 発 る 雇 に 配 置 の 記 た れ に し ま る る に る る に る る る る る る る る る る る る る	を 使に かい に か	特機児童動 いてのよう 続きは、所公 は、所公 は、所公 は、所公 は、所公 は、所公 は、所公 は、所公	数 子児立て て 数育る、を	が増加いています。	ロし、結果 民営化を含 対策総合 由事業であ ことで、日	目標値値 紫とめ支る 業とめ支る 「年事長」	上年齢業間に	16 0 こに員金運	人	要施策の成果報告書で	何 耳目 人 沙 算田 信 付
実績 〇 課題の整理 A 課題解		日本学の 日本学 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学 日本学の 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	特機 いった にった はみ、助の」 はみ、助の」 はみ、助の」 に 「営連い に 関連 に の所進 に 関連 に 単 化 関連 に がめ	数 子児立で用交に 田をして であうる、を与 保切多あ	が所「市行し」 育り様たり 関に化り 等、す、	ロ と	目実目 業とめ支る間 新のズ国 では値値 がて年事民育 画充対県	上年鈴業間所 とは前 なのでを かっこう しんぱん はいましい しんぱん はいしん しんぱん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	16 0 こに員力所 3 きとく と 6 技術 さる	人人 - な機児に - な機児に 主 大 大 に 重 の が の 助 会 に 会 で で の の の の の の の の の の の の の	要施策の成果報告書で活用	何耳目へ沙拿田はイ
実績 〇 課題の整	評価・課題	の 中い発る者(業 中い発る者(業 中い発る者(業 中の所所等 での所所等 での所所等	にたいな化性を増加している。 (たり) 国事職減 に保立営け 要になる性を の	特機でいるには、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	数 子児立で用交に 田をしく確 て数育る、を与 保切多あ及	が所「市行し 育り様たび 園に化り職等、す、員	ロ民育虫ニ 公民る引の 有 に営対事と 民間保き離 効 は現代育続職性 ・ 携育ニき、」	目標標準 ポート また	上年鈴業間所 に近前も 一	16 0 こ中屋力所で きとく活 効 と行抗 営る	人人 と持様な(保費保 で選択に育補育 に主機のでは、 に重努補助士 に大、 に大、 に大、 に大、 に大、 に大、 に大、 に大、	要施策の成果報告書で活用	何 耳目 人 沙 算田 信 付
実績 〇 課題の整理 A 課題解決	評価・課題	日本学の 日本学 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学の 日本学 日本学の 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学 日本学	では、1、1、1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の	特機 に の に は の に は の に は の に は の に は の に は の に は の に は が は の に は の に は が は の に は が は の に は が は の に は が は の に は が は の に は が は の に は に は に は に は に は に は に は に は に は	数 子児立で用交に 田をして であうる、を与 保切多あ	が所「市行し 育り様たび 施増の保単うた 園に化り職 策	ロ民育虫ニ 公民る引の 有の に営対事と 民間保き離 効貢 に関係き離 効貢 は関係を総で、 携育ニさい のでは、 関係のです。 は、 関係のです。 は、 関係のです。 は、 関係のです。 は、 のです。 は、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 の	目標標標 がて年事民育 画充対県め 大きの方の記 しています 大きの方の記 かのズ国に 大きの方のでは、 大きのうのでは、 たりのでは、	上年鈴業間所 とは前 なのでを かっこう しんぱん はいましい しんぱん はいしん しんぱん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん し	16 0 こ中E分析で きとく活 スト との これに対 ぎる ことの スト	人人 と持様な保費保 で開立に 大人 とは現に育補育 に主義な保費者の に、民 のでは、	要施策の成果報告書で活用	ſī